

日本社会精神医学会

広報委員会 委員長 西園マーハ文（明治学院大学心理学部）
 広報委員会 委員 吉尾隆（東邦大学薬学部） 岡 檀（統計数理研究所） 市来真彦（東京医科大学医学部）
 新村秀人（慶應義塾大学医学部） 田上美千佳（東都大学幕張ヒューマンケア学部）
 副理事長 下寺信次（京都大学医学部、愛宕病院） 渡邊衡一郎（杏林大学医学部）
 理事長 水野雅文（東邦大学医学部）

【学会概要】

名称 一般社団法人 日本社会精神医学会
 Japanese Society for Social Psychiatry(JSSP)

設立 1981年4月1日
 理事長 水野雅文
 会員数 1105名（普通会員・購読会員、2019年5月22日現在）
 学会HP <http://www.jssp.info/>



本学会は、1981年から、心の健康問題の予防、診断、治療や社会参加支援、また、さまざまな法律や制度の整備、そしてこれらの基礎になる疫学などを社会的視点を持って研究し、推進しています。会員は多職種に及び、他学会に先駆けて、看護学、心理学、福祉学、保健学、社会学、教育学等多くの分野と協力して活動してきました。近年は薬学分野とも連携があり、精神疾患の治療ガイドラインに挙げられる薬物治療が適切に活用されるための心理社会的基礎を提供していきたいと考えています。

年次総会や学会誌の発行の他、さまざまな職種のための研修も実施しています。また、社会的に重大な事件などについては、特別委員会で検討し、学会としての意見を公表しています。



【委員会】

- ・総務企画委員会
- ・編集委員会
- ・学術委員会
- ・国際委員会
- ・倫理委員会
- ・広報委員会
- ・精神障害者監禁事件特別委員会（2018年～）
- ・相模原事件特別委員会（2017年1月～4月）
 委員長 松本俊彦（国立精神・神経医療研究センター）
 見解 <http://www.jssp.info/pdf/sagamihara.pdf>

【学会誌】

日本社会精神医学会雑誌
 Japanese Bulletin of Social Psychiatry

年4回刊行
 ・原著論文
 ・資料論文
 ・実践報告
 ・総説
 ・展望
 ・学会シンポジウム
 教育講演等
 ・社会精神医学ピックス
 ・連載「これから論文を書く人のための統計の使い方と報告の仕方」



〔特集〕

- 21巻2号（2012年）「被爆・被ばくを振り返って」
- 22巻2号（2013年）「精神疾患地域連携クリティカルパス」
- 24巻2号（2015年）「看護学からみた社会精神医学の可能性」
- 25巻2号（2016年）「戦争体験と精神医学：戦後70年目の社会精神医学的検証」
- 26巻2号（2017年）「環境とライフコース：精神はどのように発達していくのか、精神疾患はどのような経過をたどるのか」
- 27巻2号（2018年）「メンタルヘルス疫学」
- 28巻2号（2019年）「国際疾病分類第11回改訂版(ICD-11)の社会精神医学的意義」

〔座談会〕

- 22巻1号（2013年）「脱法ハーブ問題を論じる」
- 23巻1号（2014年）「社会精神医学から見た早期支援の可能性」
- 23巻2号（2014年）「摂食障害の治療が社会に根付いていくためには：治療の現状と今後の課題」
- 24巻1号（2015年）「うつ病を中心とした気分障害の就労支援」
- 25巻1号（2016年）「認知症の最新動向と社会精神医学の貢献」
- 26巻1号（2017年）「社会精神医学への期待と役割」
- 28巻1号（2019年）「薬物療法を多職種の社会精神医学的視点から考える」

【最優秀論文賞】

- 第1回 岡 檀、山内慶太：自殺希少地域における自殺予防因子の探索—徳島県旧海部町の住民意識調査から。20巻3号213-223, 2011
- 第2回 本田洋子、衛藤暢明、松尾真裕子、喜多村泰輔、石倉宏恭、西村良二：19歳以下の重症自殺企図者の臨床的検討—20代との比較から。21巻2号156-166, 2012
- 第3回 中根允文、三根真理子：精神障害に係るAnti-stigmaの研究教科書に見るメンタルヘルス教育—中学校・高等学校の教科書における記載を通して—(1950-2002年までの「保健体育」教科書調査から)。22巻4号452-473, 2013
- 第4回 池田朋広、小池純子、森田展彰、合川勇三、松本俊彦、稲本淳子、岩波 明：措置入院指定病院に入院する違法物質使用障害者の実態調査—退院時における逮捕群と非逮捕群との比較から。23巻2号112-122, 2014
- 第5回 勝又陽太郎、松本俊彦：若者の自傷行為に対する援助行動と感情体験との関連。24巻1号 9-18, 2015
- 第6回 内田知宏、高橋由佳、佐藤修哉、本庄谷奈央、安保英勇、上埜高志：メンタルヘルス・リテラシー教育は高校生の援助要請の態度を促進するのか。25巻3号 202-212, 2016
- 第7回 野田哲朗：発達障害の診断を求める大人の諸相。26巻3号195-204, 2017
- 第8回 西山志満子、住吉太幹、樋口悠子、鈴木道雄：認知行動療法により症状及び社会認知機能の改善とともに神経認知機能が改善したUltra High Risk for Psychosis の1例。27巻2号 123-132, 2018

最優秀論文に選ばれた論文は英文化し、次年度の学会誌に掲載されます

日本社会精神医学会

広報委員会 委員長 西園マーハ文（明治学院大学心理学部）
 広報委員会 委員 吉尾隆（東邦大学薬学部） 岡 檀（統計数理研究所） 市来真彦（東京医科大学医学部）
 新村秀人（慶應義塾大学医学部） 田上美千佳（東都大学幕張ヒューマンケア学部）
 副理事長 下寺信次（京都大学医学部、愛宕病院） 渡邊衡一郎（杏林大学医学部）
 理事長 水野雅文（東邦大学医学部）

【研修】

2014年に看護師向け研修を開始し、その後、コメディカル全体を対象を広げ、さまざまなトピックの研修を実施しています。毎年学会の会期中には、薬剤師向けの研修を実施しています。

テーマ	講師
2014年10月 病棟での自殺予防とポストベンション	高橋祥友
2015年4月 看護師のメンタルヘルス	黒木宣夫、井上新平、五十嵐良雄、大西守
2015年10月 摂食障害の理解と治療	西園マーハ文、林公輔、鈴木眞理
2016年7月 うつ病・双極性障害の薬物治療と看護	渡邊衡一郎、菊地俊暁
2017年4月 発達障害の理解	金生由起子、江口聡
2017年11月 認知症患者と家族の援助	新村秀人、藤澤大介
2018年5月 市販薬の乱用問題	松本俊彦、上條吉人、平憲二

【前回（第38回）学会プログラム】

- 特別講演：認知症とともに暮らせる長寿社会をめざして
 栗田主一（東京都健康長寿医療センター研究所）
 招待講演：老いを生きる 高橋睦郎（詩人）
 会長講演：社会の中の「幸齢化」
 教育講演
 1：「うつ病」流行の背景について
 2：学校教育とメンタルヘルスリテラシー
 3：刑務所における高齢化と認知症の増加の問題
 4：Social Brain(社会脳)研究の視点からみた職場適応支援シンポジウム
 1：フィナンシャル・ジエントロピー(金融老年医学)における意思決定の問題
 2（全国精神保健福祉センター長会企画）：精神障害にも対応した地域包括ケアを目指す時代における、地域移行・地域定着支援の現状と課題
 3（精神障害者監禁事件特別委員会企画）：「私宅監置ノ実況」から100年後の現実を問う～寝屋川・三田事件から私たちが学ぶもの
 4（日本疫学会合同企画）：うつ病の疫学に関する研究・調査の理解と活用
 5：地域における認知症ケアのフロンティア
 6：高齢者コホート研究の現在
 7：多職種で行う心理教育



【年次学会テーマ（第30回以降）】

年次	会長	テーマ
第30回 2011年	岸本 年史 (奈良県立医科大学)	成長と成熟、共生する社会
第31回 2012年	竹島 正 (国立精神神経医療研究センター)	かえる・かわる-メンタルヘルス・ロモーションと精神医療保健医療改革
第32回 2013年	池田 学 (熊本大学)	混沌社会のメンタルヘルス～ゆりかごからシルバー世代まで～
第33回 2014年	飛鳥井望 (東京都医学総合研究所)	エビデンス・ベスト・プラクティスとしてのメンタルヘルス対策
第34回 2015年	鈴木 道雄 (富山大学)	社会に開かれた精神医学のために
第35回 2016年	中島 豊爾 (岡山県立精神科医療センター)	人口減少社会における精神科医療の挑戦
第36回 2017年	水野 雅文 (東邦大学)	社会精神医学の未来～科学と実学
第37回 2018年	村井 俊哉 (京都大学)	ダイバーシティ
第38回 2019年	三村 将 (慶應義塾大学)	幸福な長寿社会をめざして

【関連国際学会】



2019年10月25-28日 ルーマニア ブカレストにて

【次回の年次学会】

第39回日本社会精神医学会

2020年3月26日(木)-27日(金)

福岡国際会議場にて

会長 川崎弘詔（福岡大学医学部精神医学教室教授）

第39回
日本社会精神医学会

変化する **こころ** と社会

会 期 2020年3月26日(木)・3月27日(金)
 会 場 福岡国際会議場
 会 長 川崎 弘詔 (福岡大学医学部精神医学教室 教授)
 事務局 長 藤原 博明 (福岡大学医学部精神医学教室 講師)
 運営事務局 JTBコミュニケーションデザイン
 〒810-0072 福岡市中央区南浜 1-1-35-4F
 TEL: 092-751-3244 / FAX: 092-751-3250
 E-mail: jssp39@jtbcom.co.jp

演題登録期間: 2019年9月24日(火)～11月29日(金)
<http://jssp39.umin.jp/>

【入会案内】

学会HPの「入会案内」<http://www.jssp.info/nyukai.html>をご覧ください。

入会には会員1名の推薦を必要としますが、推薦者のお心当たりがない場合は、「入会案内」ページの事務局へのお問い合わせメールでご連絡下さい。